



秋田県農業委員会女性協議会だより (第8号)



発行日 令和5年3月29日
秋田県農業委員会女性協議会



1. 秋田県農業委員会女性協議会「第17回総会」「令和4年度研修会」

令和4年6月29日に秋田市「ルポールみずほ」において第17回総会と令和4年度研修会を開催いたしました。

総会では、令和3年度事業報告及び収支決算の承認、令和4年度事業計画及び収支予算の決定等の3議案を上程し、全議案が原案のとおり承認されました。

また、総会終了後の「令和4年度研修会」では北秋田市農業委員の金田悦子さんより「農業委員って何をするんだろう？から始まった11年」、横手市農業委員の佐々木由紀子さんより「伝えよう 農業者年金の魅力」と題しそれぞれ活動事例を報告した後、事前アンケート結果を踏まえて意見交換を行いました。就任1期目の委員の活動の取組方に関する疑問を伺ったり、3期目以上の方の取組事例をお話いただいたりと、有意義な研修会となりました。



【第18回総会の様子】



【令和4年度研修会の様子】

2. 秋田県農業委員会女性協議会地区別研修会～女性農業委員による活動の活性化～ 農業委員への登用促進に関する意見交換会を開催



【研修会の様子(左) どぶろくじゅんさい鍋(右)】

した。

取り組んだレシピはクックパッド内のブログ「全国農業新聞の献立♪」に掲載されていますので、





是非ご覧ください。(<https://cookpad.com/recipe/7384986>)

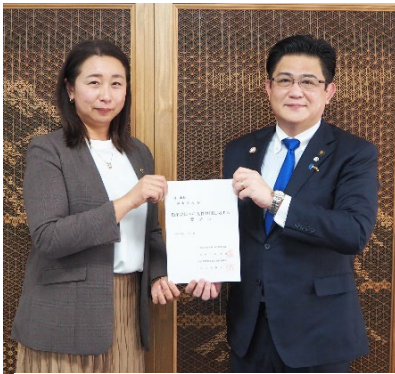


意見交換会では、女性登用に関する情勢や事例報告（DVD 上映）の後、参加者一人ひとりから発言していただきました。「男女の違いが無いのが本来の姿と思うが、実際に女性が少ない」「活動するにはせめてもう2人は女性が必要」といった現状に対する意見や、フードバンクや農業者年金の加入推進で女性委員が中心となり取り組んでいる事例等、午前中の研修会で打ち解けた成果もあり、より率直な意見交換をすることができました。



3. 女性農業委員登用促進に向けた要請・意見交換を実施

令和5年7月に県内17市町村で農業委員・農地利用最適化推進委員の改選が実施されます。国が求める成果目標では、女性農業委員が登用されていない農業委員会を令和7年度までにゼロにする・農業委員に占める女性の割合を早期に20%、令和7年度までに30%を目指すとしており、女性登用に向けた取組強化の一環として、特に女性農業委員の登用率が20%を下回る13の農業委員会において巡回での意見交換に取り組みました。潟上市、湯沢市、美郷町では市長・町長に対し直接面会し、女性の積極的な登用・理解促進・候補者の推薦・募集について要請しました。



【要請活動の様子 左から 潟上市、湯沢市、美郷町】

4. 令和4年度北海道・東北ブロック女性農業委員・農地利用最適化推進委員研修会【青森市】

令和5年1月15日に青森市「リンクモア青森平安閣市民ホール」で「令和4年度北海道・東北ブロック女性農業委員・女性農地利用最適化推進委員研修会」が開催され、当協議会から14名が出席しました。

東京農業大学の五條満義准教授の講演、農業者年金の加入推進に関する研修が行われました。当協議会の出席者からは「地域計画の策定や不動産登記法の改正に関する課題についての意識が深まった」等の意見があり、学びの多い研修会でした。



【講演の様子(左) 出席者(右)】

令和5年度は秋田県でこの研修会を開催する予定です。より充実した内容で皆様をお迎えしましょう。



5. 新会員の農業委員会業務への意気込み

令和4年度は、にかほ市、井川町、大潟村で、農業委員・農地利用最適化推進委員の改選が行われ、新任の女性が4名就任し、当協議会へ入会しました。農業委員会業務への意気込みや抱負とともにご紹介いたします。

1. にかほ市農業委員会 農業委員 佐々木 純子 さん



令和4年4月から農業委員を拝命し、何も分からないまま時が過ぎ、早くも一年が経とうとしております。総会、農地パトロールなど、先輩委員の方々からのご指導をいただきながら務めてきました。事務局からも農地法など様々な研修会などを設けていただき、農業委員の活動について勉強している日々です。

様々な課題を抱える農業環境にあって、地域の皆さんのお役に立てる身近な存在になれるよう努力していきたいと思っております。

2. 井川町農業委員会 農業委員 伊藤春美 さん



令和4年4月に農業委員になり、初めての仕事に大変さを感じながら、先輩方のご指導をいただいています。今までの農業の見方、感じ方、考え方などの自分の変化を感じながら、いろんな事の勉強をしています。

そして少しでも、農家さんの力になればと農地パトロール・活動に参加し、刺激を受けながら頑張っていきたいと思います。

3. 井川町農業委員会 農業委員 伊藤正子 さん



令和4年4月に農業委員として任命され、まずは色々と勉強させていただき、農業委員としての知識を得て、地域農家の皆様のお役に少しでもなればとお引き受け致しました。農業者の高齢化等により管理の行き届いていない地域など、様々な条件の農地を知るなど大変な任務をお引き受けしたのだと思うと同時に、地域農業の為に少しでもお役に立てるように日々勉強をして頑張りたいと思います。

4. 大潟村農業委員会 農業委員 松橋良子 さん



11月から農業委員になり、委員会活動の多様さに驚いています。総会では離農者や高齢化で田んぼや畑の権利移動の多いことも知りました。これから、覚えることや勉強することがたくさんありますが、地域の農地を守るために頑張りたいと思っております。

7. 女性農業委員・女性農地利用最適化推進委員のペンリレー

私のつぶやき

～ 執筆者 大仙市農業委員会 農地利用最適化推進委員 竹原まゆみ さん ～



「農業が就職先の選択肢の一つになれば良い。」と生前、夫は言っていた。夫が、友人と農業法人を起業して十七年。その頃は、今のように法人数の増加、法人への就職は想像出来なかった。今は、夫が希望していたように、農業も就職先の一つになっている。

若い社員は、トラクター、重機をおもちゃみたいに乗りこなす。頭で考え、トラクターを操作する私とは大違い。男性には、機械の操作、機械に関する知識に強い遺伝子が備わっているのでは……。ともあれ、お互いに弱い部分を補い合い、一つの方向を目指すことが大切。

農業の問題点は沢山あるとしても、過去から現在まで続いてきたように、形を変えながらも続いていく。農地利用最適化推進委員として三年間、働きは少ないながらも、良い経験をさせてもらった。これからは、もっと学習をし、もっと人と係わり、この仕事を続けていきたい。

～ 執筆者 男鹿市農業委員会 農業委員 三浦栄子 さん ～

農業委員に任命されて2期目になります。未だにわからない事が多く、他の委員の皆さんに迷惑をかけながら活動しています。

男女共同参画の時代とはいえ、今まで男性社会だった所に入っていくには、とても勇気がいる事でした。周囲の勤めもあって応募しましたが、一期で終わる予定でしたが、二期目になってしまいました。残念ながら女性の応募がなく、声をかけても家族の同意がもらえないのが現状でした。地域差もありますが、女性が外に出るのは難しい事だと思いました。

女性農業委員の活動を知ってもらいたいと思い、農業者年金の推進も兼ねて、JA 女性部の総会で話を聞いてもらいました。年金を受け取っている人が多い女性部ですが、中には家族経営の人もいて「いい話をきかせてもらって、家族で相談してみるから」と声をかけていただきとてもうれしかったです。まだまだ勉強不足なので研修を受けながら良い点を伝えていけたらと思っています。

農業委員として農地を守るため、農家の人のためになれるように、もう少し頑張ってみようかなと思っています。



～ 執筆者 小坂町農業委員会 農業委員 亀田静子 さん ～



先日、テレビで小学校のいきもの係りの事を放送していました。昔はにわとりが多く飼われていたと思いますが、あのにわとりは最後、どこへ行ったのか？その当時は考える事もしませんでした。家のにわとりがいなくなると、夕食が鍋物だったり、給食の牛丼がこの間まで家にいた牛さんだったりして…。

ペットと経済動物の違いを小学生から教えていかなければいけないでしょうし、いただいた命は無駄にせず、最後までいただく事。ごはんも「一粒残さず食べなさい、残すと目が見えなくなるよ」と言われたことを思い出します。

農業委員の主な仕事は農地関連が多いのですが、食育にも携わっていく事で、将来の担い手づくり、もしくは農業の応援団をつくる事にも貢献できると思います。

人それぞれ得意分野があり、その能力が発揮されてこそ活かされます。性別で区別するのではなく、老若男女がバランス良く配置される事で、活発な委員会活動が展開されると感じています。今年は、多くの委員会が改選される年であり、期待大です。

編集・発行：秋田県農業委員会女性協議会（事務局：一般社団法人秋田県農業会議）

秋田市山王4丁目1-2 秋田地方総合庁舎内 TEL:018-823-2785 FAX:018-823-7361